

### 佐渡の大自然で楽しい体験交流 夏休み！わくわく体験キャンプin佐渡

7月26日から3日間、新潟都市圏総合整備推進協議会（新潟市他9市町で構成）による小学生体験交流事業の体験キャンプが佐渡二つ亀周辺で行われました。

横越町から参加した7名や地元両津市などの小学校4年生から6年生約70名が参加し、大学生をリーダーに8班に分かれ、テントやログハウスに泊まり、夕食のカレー作り、イカの一夜干作り、海藻の標本作り、佐渡おけさ教室、キャンプファイヤーなどを行いました。子どもたちは、他の市町の小学生ともすぐに友だちになり、いきいきとして楽しんでいました。

### 近隣の市町村の施設を広く知ってもらおうと 新潟地域広域施設めぐり開催

8月10日、新潟地域広域市町村圏協議会新津ブロック（新津市他4市町で構成）では、近隣の市町村の施設を広く知ってもらおうと「広域施設めぐり」を開催し、町内の参加者を含め圏内の住民約50名が参加しました。

信濃川河口に建設中の新潟みなとトンネルではヘルメットをかぶり、関係者から工事の説明を受けながら川底のトンネルの中間部まで歩いたほか、新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）内のコンサートホールや能楽堂、2002年ワールドカップサッカー大会の会場となる新潟県総合スタジアムの建設現場を見学しました。

「ふだん見ることのできないところを見学できて良かった」と参加者は感想を述べていました。



### 日頃の感謝の気持ちを込めて 町建設業協会がごみ拾いを実施

8月10日、町の建設業協会が、道路のごみ拾いのボランティア活動を行いました。

この協会では、日頃の感謝の気持ちを込めて、地域の道路をきれいにしたいということから、加盟建設会社16社の社員や協会役員などおよそ40名が参加。猛暑の中、国道49号や県道新潟港横越線、阿賀用水路わきの町道などで、ひとつひとつごみをビニール袋に入れていきました。2時間で集まったごみの量は2トンダンプで大盛り2台分になりました。

協会では、今回初めての活動ですが、今後も様々なボランティア活動を続けていきたいと話していました。

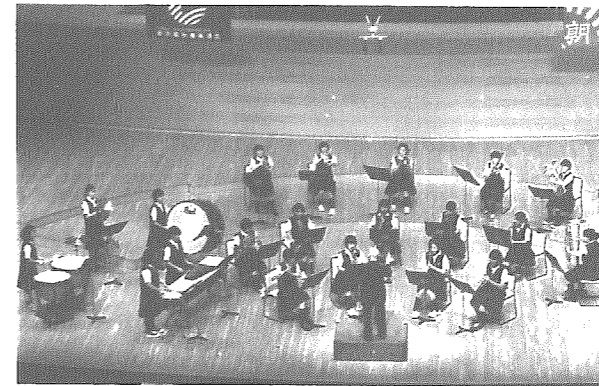


### 木っ津インターネット教室開催

8月19日、木津農業構造改善センターで木津地域公民館主催による木っ津インターネット教室が行われました。

最近パソコンを使って情報を見たり、発信することがとても簡単になってきていることから、実際に体験してもらおうと、亀田郷土地改良区、NTTから全面的に協力してもらい実施しました。

幼児から大人まで50名が教室に参加し、亀田郷土地改良区亀田郷ネットのスタッフからインターネットやEメールのやり方を教えてもらい、実際にホームページを見たりメールの交換を行ったり、楽しんでコンピューターを操作していました。帰りにはその場で作った写真入りカレンダーがプレゼントされました。



### 横越中学校吹奏楽部 下越地区大会金賞、県大会出場

7月27日、新潟テルサを会場に新潟県中学校吹奏楽コンクール下越地区大会が開かれ、横越中学校吹奏楽部も出場。「Red Rock Canyon」という曲を演奏し、見事金賞を受賞。8月8日には県大会が新潟市芸術文化会館で行われ、すばらしい演奏で銀賞を受賞しました。

参加した生徒たちは、3年生10名、2年生4名、1年生6名の計20名で、1学期中はこのコンクールに向けて練習に励んできました。演奏の出だしがうまく合わなかったという苦労もありましたが、本番では吹奏楽を始めたばかりの1年生も、2・3年生と一緒に演奏に集中しがばりました。

### 老若男女が願いを込めて火渡り 恒例の木津薬師火祭り開催

7月28日、木津の真言宗光明院で恒例の火祭りが行われ、町内外からたくさんの人たちが訪れました。

辺りが暗闇に包まれ始めた午後7時すぎ、山伏姿の僧がホラ貝を吹きながら境内に入場。「山伏問答」や「宝剣の儀」などの儀式を行った後、人の背丈ほどに積み上げられた炉に点火。瞬く間に数メートルの火柱となり、炎の中に低い声でお経を読み上げる僧たちのシルエットが映し出され、一帯は幻想的な雰囲気となりました。

炎が弱まったところで、僧たちが火渡りを行い、子どもからお年寄りまでそれぞれの願いを込めて、胸に手を合わせ、はだして火渡りをしていました。



### 夏の交通事故防止運動 50名が国道で街頭指導

夏の交通事故防止運動が8月1日から10日まで、「車間距離 あなたの心の広さです」をスローガンに県下各地で実施され、町ではこの運動の一環として期間初日の8月1日、川根町の国道で街頭指導所を開設しました。

指導所には浅見町長、南警察署長をはじめ、交通安全協会、交通安全母の会、横越ライオンズクラブ、交通安全指導員などおよそ50名が参加。炎天下の中、通行する車1台1台に止まってもらい、ドライバーに交通事故防止のチラシなどを配布しながら、「シートベルトの着用・若者の交通事故防止・安全な速度の徹底」などを真剣に呼びかけました。

### 亀田消防署で署員対象に手話講座開催

8月初旬、亀田消防署で手話講座が開催され、亀田・横越の全署員55名が参加しました。

講師に新潟県聴覚障害者情報センターの石橋係長を招き、消防・救急業務に必要な手話について1日2時間、計5日間の講習を受け、先生から教わったり、署員同士が手話で会話し合い、最終日には聴覚に障害を持つ方も参加して練習し、実践的な訓練を行いました。消防も福祉の一環という意識のもと、住民が安心して暮らせる町づくりを目指し、今後は聴覚障害者だけでなく、視覚障害者などへの対応もできるような努力をしていきたいと渡辺消防長は語っていました。

聴覚・言語障害者用緊急FAX番号（亀田町消防署）  
FAX 381-1030

FAX通報の詳細は広報よこごし2000年6月号に掲載。

